

令和6年度  
広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教育学部

第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース

小論文問題

実施期日 : 令和5年11月16日（木）  
試験時間 : 9時30分～12時00分（2時間30分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を含めて8枚、解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答は解答用紙の指定の場所に記入してください。
5. 解答用紙は室外へ持ち出してはいませんが、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
6. 机上には、本学受験票、配付した問題冊子等、黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、定規、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）のほかは置くことができません。

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教育学部  
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース  
小論文問題

---

第1問 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権保護の観点から、公表していません。

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教育学部  
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース  
小論文問題

---

著作権保護の観点から、公表していません。

（信原幸弘（2022）『「覚える」と「わかる」 知の仕組みとその可能性』筑摩書房，pp.48-51より一部改変）

設問 1 意味の「イメージ説」とはどのようなものか。また，そこにはどのような問題点があるか。具体例を挙げながら 150 字以内で説明しなさい。

設問 2 筆者は「意味を理解する」ということをどのようなことだと考えているか。意味の「使用説」に言及しつつ，具体例を挙げながら 150 字以内で説明しなさい。

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教 育 学 部  
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース  
小論文問題

---

設問 3 日本語学習者が日本語の「意味」を習得するためには、どのような方法が有効だとあなたは考えるか。本文の内容をふまえ、「意味」についてのあなたの立場を明示した上で、具体例を挙げながら300字以内で述べなさい。

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教育学部  
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース  
小論文問題

---

第2問 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権保護の観点から、公表していません。

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教育学部  
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース  
小論文問題

---

## 著作権保護の観点から、公表していません。

（石田美保・小川誉子美・小田切由香子・総田はるみ・吉田昌平（2002）『日本語でボランティア 外国語として日本語を教えるって？』スリーエーネットワーク，pp.32-33 より一部改変）

設問 1 下線部（1）について、「教科学習に必要な日本語」と「自由時間などで必要な日本語」はどのように異なるか。それぞれの例を自分で考えて 100 字以内で説明しなさい。

設問 2 下線部（2）「著作権保護の観点から、公表していません。」のはなぜか。表中の意見をもとに 200 字以内で述べなさい。

設問 3 下線部（3）「著作権保護の観点から、公表していません。」だと考えられるのはなぜか。あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教 育 学 部  
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース  
小論文問題

---

第3問 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権保護の観点から、公表していません。

(Cited from “New initiatives to increase globalization of education” by Kerry Furukawa.  
The Japan Times, Special Supplements / Hiroshima G7 Summit Special, May 19, 2023)

令和6年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教 育 学 部  
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース  
小論文問題

---

設問 1 下線部(1)を日本語に翻訳しなさい。

設問 2 あなた自身が、下線部(2)で記述されるような人材になる場合、大学でどのようなことに取り組むべきか、200字以内で述べなさい。

設問 3 下線部(3)を実現する具体的な方策について、日本語教育の観点から、あなたなりの考えを、200字以内で述べなさい。